

# ご議論いただきたいこと（例①）

## 1 看護学生（特に社会人）の確保に向けて

### 現状 ・ 課題

- ・ 18歳人口の減少に伴い、**看護師等学校養成所の定員充足率は低下傾向**にある。こうした中、看護職員の需要数は、令和22(2040)年に向けて増加していくと推定。
- ・ 若者へ看護職の魅力を発信するほか、**看護学以外の専攻で大学を卒業した方や、社会人として一定の就労経験を経た方にも看護職の資格取得をめざしてもらえ**ような取組が必要。
- ・ なお、看護師等養成所では、社会人学生数が総学生数に占める割合は1割以上。看護学生の背景などが多様化している中、退学や離職を防止するとともに、即戦力として働ける人材が求められている。

### 県の 取組

※一部  
抜粋

- ✓ 厚生労働省チラシ「社会人から看護師を目指そう！」を関係団体・関係機関へ周知
- ✓ **看護師等修学資金貸与制度**を運用
- ✓ **看護師等養成所運営費補助金**で退学率加算のほか、県内就業率加算を創設
- ✓ 看護教員の質の向上を図るため、**専任教員養成講習会や看護教員継続研修を実施**

### 検討事項 (案)

**社会人から看護職員になる方を増やしていく**ためには看護師等学校養成所や県がいつどのように看護職の魅力を発信していくとよいか。学生生活でどのような支援があると社会人の学生の確保につながるか。



# ご議論いただきたいこと（例②）

## 2 県内就業の促進に向けて

### 現状 ・ 課題

- ・ 県内看護師等学校養成所の県内就業率は、70%台後半を推移。  
看護職員の総数確保を図るためには、**県内就業者数の増加に向けた取組**が必要。
- ・ 特に東紀州区域は、県内で高齢化率が高く、医療と介護の複合ニーズを持つ者が一層多くなることが予想されるが、看護師等学校養成所が存在しないこともあり、看護職員の確保がさらに厳しくなる可能性がある。
- ・ 就業先として「実習病院」を選択する学生が多い。
- ・ **県内求人施設が学生や看護職に就業先として選んでもらえる**ような働きかけが必要。

### 県の 取組

※一部  
抜粋

- ✓ 効果的な実習ができるよう、実習指導者講習会を実施
- ✓ 県内看護系大学の看護学生に対して、県の支援制度を紹介
- ✓ ナースセンターで**看護職向けの無料職業紹介**を実施  
【参考（令和6年度）】ナースバンク事業での就職者444人
- ✓ **「女性が働きやすい医療機関」認証制度**を実施  
【参考（令和6年度）】31医療機関を認証

### 検討事項 (案)

- 県内就業の促進**を図るためには、関係機関・関係団体や県がどのような取組を行うとよいか。各所属・団体内で人材確保において工夫していることがあるか。
- (案) 【県】 医療機関等を対象に地区別で採用力向上やプラチナナースの活用に向けたセミナーを実施
  - (案) 【県】 医療機関等がアピールポイントを打ち出せるよう支援

# ご議論いただきたいこと（例③）

## 3 看護職員の持続可能な働き方の創出に向けて

### 現状 ・ 課題

- ・ 高齢期の看護職員の就業が進んでおり、**安心して働き続けられる職場環境づくり**が求められている。
- ・ 現役世代が急減する中で、看護サービスの需要の増大に対応していくためには、**プラチナナース**（定年退職前後の看護職）**や看護補助者の就業を推進**していくことが必要。
- ・ **医療機関等の勤務環境改善の取組を支援**するとともに、**スキルアップの機会を提供**することで、**離職防止並びに資質向上を図る**ことが必要。

### 県の 取組

※一部  
抜粋

- ✓ **退職後の働き方等に関する研修を実施**  
【参考（令和6年度）】計26人参加
- ✓ 多様な勤務形態の導入に関する**医療機関からの相談**、さまざまな悩みや不安を抱える**看護職員からの相談**に対応
- ✓ **スキルアップの機会を提供**
- ✓ **看護補助者の仕事に関する周知媒体を作成・配布**  
求職者に対して**看護補助者の仕事に関する説明会**や**無料職業紹介**を実施

### 検討事項

（案）

**看護職員が安心して働き続けられる**ために必要なことは何か。**医療機関等で多様な人材の雇用や持続可能な働き方が創出される**ために求められる支援は何か。

- （案）【県】就職氷河期世代等の求職者に対して、看護補助者の仕事を周知するほか、無料職業紹介等を実施
- （案）【県】さまざまな悩みや不安を抱える看護職員からの相談に対応する窓口の周知を強化

# 【参考】「女性が働きやすい医療機関」認証制度

## <目的>

- ・医療従事者の確保を図るため、女性が働きやすい環境づくりに積極的に取り組む医療機関を三重県が認証する
- ・認証を受けた医療機関が社会的に評価される仕組みを作ることにより、女性も男性も働きやすい環境づくりを促進する

## <認証要件>

- I 職場環境づくり
  - II 人事管理
  - III 保育・介護支援
  - IV サポート体制
- の4項目を審査



## 女性が働きやすい 医療機関認証制度



三重県・三重県医療勤務環境改善支援センター

## <認証医療機関> H27年度～R6年度

### 病院部門 20施設

岡波総合病院、長島中央病院  
市立伊勢総合病院  
亀山市立医療センター  
豊和病院、伊勢赤十字病院  
県立志摩病院  
三重大学医学部附属病院  
済生会松阪総合病院  
松阪中央総合病院  
県立総合医療センター  
桑名市総合医療センター  
山中胃腸科病院  
伊賀市立上野総合市民病院  
三重中央医療センター  
ヨナハ丘の上病院  
白子ウィメンズホスピタル  
鈴鹿中央総合病院  
三重県立こころの医療センター New  
鈴鹿回生病院 New

### 診療所部門 11施設

ウエルネス三重健診クリニック  
野町どい眼科  
アクアクリニック伊賀  
亀田クリニック  
健診センターサンテ  
おおにし呼吸器・糖尿病内科呼春の森診療所  
ヨナハ健診クリニック  
みたき健診クリニック  
ほりいクリニック  
ほりいクリニック希中央  
うえなみ内科クリニック New

### 認証を受けた医療機関からの声

- ・職員のモチベーションが上がり、離職率が改善した
- ・就業希望者が増えた
- ・職員の意識向上につながった など